



令和6年1月11日(木)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

あけましておめでとうございます！2024

元日の朝は新しい年の始まりです。皆さんは、どんな元日の朝を迎えましたか？「一年の計は元旦にあり」「一年の初めの日だ。今年は、□□を頑張ろう！！」「○○を続けよう」などと、一年の計画や目標を立てたことでしょうか。元旦は、12月31日(大晦日)から一日たっただけなのに、気持ちが改まって「新しい年だから嬉しい。いい年にしたい」と思いますね。

今年の元日は、石川県能登半島で地震が発生し、多くの方が被災されました。昨日の始業式では、亡くなられた方々のことを思い、また被災された方々やその土地の一日も早い復興を願って、みんなで黙とうしました。中島小学校のみんなが元気に冬休みを終え学校に登校する、そんな当たり前の日々を迎えられることがどれだけ幸せか・・・ぜひ一日一日を大切に過ごしてほしいものです。

1学期、2学期に比べ、3学期はとても短いです。でも、学年のまとめとして大切な時期です。1年生から5年生までは一つずつ上の学年に、6年生は中学生に近づいていきます。一日一日の体や頭の成長は自分ではなかなか気が付きませんが、毎日毎日の努力が自分を作っていきます。自分がやったことは、目に見えることも目に見えないことも、すべて自分に返ってきます。自分で立てたためあてや計画の達成を目指して努力を重ね、次の学年に向けて大きく成長する3学期となることを祈っています。

新しいことに挑戦しよう！

2024年(令和6年)は辰年。十二支の中で唯一の架空の生き物ですが、非常に縁起のよい生き物です。2024年は甲辰(きのえたつ)です。『甲』は「甲乙丙丁～癸」の始まりであることから、物事の始まりを意味します。『辰』は植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があることから、辰年は成功にスピード感をもって近づける年となります。2024年。新たな成功を目指して、何かにチャレンジするのに最適な年です。さあ、何を始めましょうか。楽しみですね。

どんど焼きがありました！

1月8日(月)、今年の無事安穩(ぶじあんのおん)と無病息災(むびょうそくさい)を願い、中島小学校運動場で中島校区の「どんど焼き」が行われました。厳粛な神事後、火入れ式が行われ、高く炎が上がりました。どんど焼きのような日本の伝統や昔の生活などに触れられる数少ない機会が「お正月」です。子どもたちにも自分たちの国の文化を知ってほしいと思います。以下、お子さんと一緒に読んでみてください。

お正月の行事や慣習にはこんな意味があった！

【大掃除】お正月を迎える準備として大掃除をする風習は平安時代からありました。江戸時代にはいり、江戸城大奥で行われていた「煤(すす)払い日」の慣習が民間に広まったことにより、「煤払い」すなわち「年末の大掃除」が一般的に行われるようになったと考えられています。

【門松・しめ飾り・鏡餅・お年玉】●**門松** 松は神様にとても縁が深い木とされており、年神さま(お正月の神様のこと)をお迎えする目印として家の門に左右一対(雌松と雄松)を飾るのが慣わしです。もともとは、松だけを飾る「松飾り」でしたが、室町時代に入り生命力や長寿の象徴ともされる竹が取り入れられるようになり、現在のよう「門松」になったといわれています。●**しめ飾り** 門松と同じく年神さまを迎えるために玄関付近に飾ります。●**鏡餅** 年神さまの家のなかでの居場所が「鏡餅」です。丸い餅を神様が宿るとされていた丸い鏡に見立て、「鏡餅」とよぶようになりました。●**お年玉** 年神さまの御魂が宿った鏡餅の餅玉を家長が「御年玉」「御年魂」として家族に分け与え、それをいただくことにより新しい年の幸せや健康を願うのが「お年玉」のルーツといわれています。

【年越しそば】そばは細く長いことから「長寿」や「健康」「家運長命」などへの願いが込められています。さらに、そばはうどんなどよりも切れやすいので「一年の不運や災いを断ち切る」という意味もあります。

【お屠蘇(おとそ)】お屠蘇は、お酒に漢方薬などを浸した薬膳酒です。古代中国で大晦日に漢方薬などをお酒に浸しておき、それを不老不死の薬酒として元日の朝に年少者から年長者へ順にまわして飲んでいくという風習から始まったとされています。一年の邪気や悪気を「屠り(ほぶり)」、命を「蘇らせる(よみがえらせる)」ということから「お屠蘇」と呼ばれています。

【おせち料理】もともとは季節の節目を祝う日(節句など)に神様にお供える「御節供料理(おせちくりょうり)」を指します。年間を通して何度もある節句ですが、そのなかでも特に大切な日がお正月ということで、お正月の御節供料理だけが「御節料理」として残りました。

【初詣】新年を迎えて初めて神社やお寺などに参詣することで、その年の健康や幸せを祈願します。

【七草粥・鏡開き・どんど焼き】●**七草粥** 昔の中国では、「人日の節句」という五節句のひとつにあたる1月7日に、七種類の若菜を入れた汁物を食べて無病息災や立身出世などを願う風習があり、これが奈良時代の頃日本に伝わったのが「七草粥」とされています。●**鏡開き** 新年にお招きした年神さまの居場所だった鏡餅を割って食べるのが「鏡開き」です。開いた鏡餅をお汁粉などに入れて食べることにより一年の健康と幸せを願います。●**どんど焼き** 門松やしめ飾り、古いお守りやお札をお焚き上げる火祭りが「どんど焼き(左義長)」です。その炎で年神さまをお見送りする意味があるようです。また、書初めで書いた書物なども一緒に燃やされることがありますが、高く燃え上がると習字が上達するといわれています。

*** 保護者の皆様へ ***

今年度も残り3か月となりました。3学期もインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、子どもたち一人一人が自分のよさや成長を実感し、自信をつけて進級・進学できるように、教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。